

瀬戸内町告示第 45 号

財政状況の公表に関する条例(昭和47年瀬戸内町条例43号)第2条の規定により、平成24年度上半期の財政状況を別紙のとおり公表する。

平成24年11月1日

瀬戸内町長 房 克臣

平成24年度 上半期

財政状況の公表

鹿児島県 瀬戸内町

目 次

財政動向及び財政方針	.....	1
1 平成23年度 決算のあらまし	.....	2
(1) 概要	.....	2
(2) 各会計実質収支の状況	.....	2
(3) 一般会計歳入の状況	.....	8
(4) 一般会計歳出の状況	.....	10
(5) 町債の状況	.....	12
2 平成24年度 上半期財政運営のあらまし	.....	13
(1) 予算の規模	.....	13
(2) 予算の執行状況	.....	15
3 町有財産の状況	.....	17

## I 財政動向及び財政方針

本町では、町民の皆様には町財政について正しく理解していただくため、町条例に基づき毎年5月1日及び11月1日の2回、財政状況を公表しています。今回は、平成23年度決算及び平成24年度上半期の財政運営を中心に財政状況を公表します。

平成23年度の我が国の経済活動は、東日本大震災における深刻な打撃により、マイナス成長が2四半期続くなど厳しい状況からのスタートとなりました。その後、官民の総力を結集した復旧・復興努力を通じてサプライチェーンの急速な立て直しが図られ、景気は持ち直しに転じましたが、夏以降は急速な円高の進行や欧州政府債務危機の顕在化による世界経済の減速が景気の持ち直しを緩やかなものにしていきます。

このような社会情勢の中、本町と致しましては、多様化・高度化する住民ニーズや新たな行政課題に的確に対応し、住民福祉の更なる向上と個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を目指し取り組んで参りました。

さて、本町の23年度決算は、普通会計と特別会計を合わせた連結赤字は発生していないものの、依然特別会計の累積赤字が多く生じていることや、毎年のように続く台風や集中豪雨による災害復旧事業費の増加に対応できる積立基金の残高不足等が顕著となる結果になりました。

低迷する経済情勢の中、自主財源の減少に加え、三位一体の改革の影響により国からの地方交付税等による財源確保が厳しくなる中、「新集中改革プラン」や「公債費負担の適正化」など実効性のある行財政改革を推進し、持続可能な財政運営への転換を図っていかねばなりません。

今後も、町民と共に連携と協調の精神で最大限の努力を行いながらまちづくりに取り組み、限られた財源を有効に活用して行政サービスを維持し、職員一人一人がこのような状況を共通認識し、持続可能な瀬戸内町の実現に向けて今何をすべきかを長期的な視点から捉え、平成24年度下半期の予算配分や新年度予算に反映させる必要があります。

# 1 平成23年度決算のあらまし

## (1) 概 要

平成23年度決算は、国庫支出金や繰越金による歳入の増、普通建設事業費や公債費等の減による歳出の減により、財政健全化法上の連結赤字は昨年度に続いて解消され、危機的状況は回避されている。

一般会計と各特別会計の総決算収支(公営企業の水道事業を除く)において、歳入総額13,629,984千円に対し、歳出総額13,365,718千円で、差し引き264,266千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源30,512千円を差し引いた実質収支額は233,754千円であり黒字幅が増大している。

## (2) 各会計実質収支の状況

### 1). 一般会計

平成23年度一般会計歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 10,485,339 千円に対し、歳入 9,429,532 千円、歳出 8,860,545 千円となり、前年度に比べ歳入で 562,450 千円 6.3%の増、歳出で 540,986 千円 6.5%の増となり、決算収支は、歳入歳出差し引き 568,987 千円の黒字で、翌年度へ繰り越すべき財源 30,512 千円を差し引いた実質収支も 538,475 千円の黒字となっている。

(単位：千円)

一 般 会 計							
年 度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			A-B	C			
23年度	9,429,532	8,860,545	568,987		30,512	538,475	21,693
22年度	8,867,082	8,319,559	547,523		30,741	516,782	133,109
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
23年度	305,506	0			249,216	77,983	
22年度	283,673	0			266,029	150,753	

### 2). 巡回診療施設特別会計

巡回診療施設特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 355,154 千円に対し、歳入 291,378 千円、歳出 315,477 千円、差し引き 24,099 千円の赤字となっている。

単年度収支については 51,649 千円の黒字となっている。

(単位：千円)

巡 回 診 療 施 設 特 別 会 計							
年 度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			A-B	C			
23年度	291,378	315,477	△ 24,099		0	△ 24,099	51,649
22年度	256,932	332,680	△ 75,748		0	△ 75,748	23,720
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
23年度	0	0			0	51,649	
22年度	0	0			0	23,720	

3). 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 2,038,323 千円に対し、歳入 1,746,002 千円、歳出 2,019,173 千円、差し引き 273,171 千円の赤字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の赤字となっている。主な要因は、療養給付費及び前年度繰上充用金によるものである。なお、単年度収支については 178,633 千円の黒字となっており主な要因は、赤字解消 10カ年計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものである。

次に、国民健康保険直営診療勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 22,989 千円に対し、歳入 25,834 千円、歳出 20,379 千円で、差し引き 5,455 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっている。なお、単年度収支については 265 千円の赤字となっている。

(単位：千円)

国民健康保険事業勘定						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
23年度	1,746,002	2,019,173	△ 273,171	0	△ 273,171	178,633
22年度	1,744,633	2,196,437	△ 451,804	0	△ 451,804	269,402
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I	実質単年度収支 F+G+H-I		
23年度	0	0	0	178,633		
22年度	0	0	0	269,402		

(単位：千円)

国民健康保険直営診療勘定						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
23年度	25,834	20,379	5,455	0	5,455	△ 265
22年度	23,938	18,218	5,720	0	5,720	2,045
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I	実質単年度収支 F+G+H-I		
23年度	0	0	0	△ 265		
22年度	0	0	0	2,045		

4). と畜場事業特別会計

と畜場事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 2,668 千円に対し、歳入・歳出同額の 2,100 千円となっている。歳出の主なものは、総務管理費の賃金や営業費の中の需用費等(電気料・光熱水費・修繕費・水質検査費)である。

(単位 : 千円)

と畜場事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
23年度	2,100	2,100	0	0	0	0
22年度	2,355	2,355	0	0	0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
23年度	0	0	0		0	
22年度	0	0	0		0	

5). 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 247,706 千円に対し、歳入 243,839 千円、歳出 237,649 千円となり、差し引き 6,190 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支でも同額の黒字となっており、累積赤字を解消した。なお、単年度収支についても 30,518 千円の黒字となっており、主な要因は経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものである。

(単位 : 千円)

簡易水道事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
23年度	243,839	237,649	6,190	0	6,190	30,518
22年度	255,918	280,246	△ 24,328	0	△ 24,328	44,934
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
23年度	0	0	0		30,518	
22年度	0	0	0		44,934	

6). 古仁屋港上屋事業特別会計

古仁屋港上屋事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 4,609 千円に対し、歳入 4,607 千円、歳出 2,541 千円、差し引き 2,066 千円の黒字となっている。なお、単年度収支については 592 千円の赤字となっている。

(単位：千円)

古仁屋港上屋事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
23年度	4,607	2,541	2,066	0	2,066	△ 592
22年度	5,178	2,520	2,658	0	2,658	△ 146
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
23年度	0	0		0	△ 592	
22年度	0	0		0	△ 146	

7). 船舶交通事業特別会計

船舶交通事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 355,364 千円に対し、歳入 288,899 千円、歳出 344,150 千円、差し引き 55,251 千円の赤字となっている。なお、単年度収支については 22,137 千円の黒字となっており、主な要因は、人件費の減や国・県補助金の増、経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものである。

歳出の主なものは、総務管理費として 23,135 千円、せとなみ費として 93,088 千円、フェリーボート費として 115,059 千円、公債費として 42,799 千円となっている。歳入では、せとなみ・フェリーボート運航収入として 122,017 千円、国・県補助金として 132,502 千円、その他一般会計からの繰入金や収入等 35,327 千円となっている。

(単位：千円)

船舶交通事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
23年度	288,899	344,150	△ 55,251	0	△ 55,251	22,137
22年度	289,333	366,721	△ 77,388	0	△ 77,388	24,054
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
23年度	0	0		0	22,137	
22年度	0	0		0	24,054	

8). 介護保険特別会計

介護保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 1,458,910 千円に対し、歳入 1,458,293 千円、歳出 1,426,739 千円、差し引き 31,554 千円の黒字となっている。黒字の主な要因は、国・県支出金、一般会計繰入金の増によるものである。

なお、単年度収支については 3,228 千円の赤字となっている。

(単位：千円)

介護保険特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B C		C-D	E	
23年度	1,458,293	1,426,739	31,554	0	31,554		△ 3,228
22年度	1,386,836	1,352,054	34,782	0	34,782		15,388
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
23年度	0	0	0		△ 3,228		
22年度	0	0	0		15,388		

9). 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 27,645 千円に対し、歳入 28,087 千円、歳出 26,860 千円で、差し引き 1,227 千円の黒字となっている。翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっている。主な要因は、改良工事費及び施設維持管理費の減のほか、経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものである。

なお、単年度収支については 583 千円の赤字となっている。

(単位：千円)

農業集落排水事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B C		C-D	E	
23年度	28,087	26,860	1,227	0	1,227		△ 583
22年度	41,187	39,377	1,810	0	1,810		7,154
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
23年度	0	0	0		△ 583		
22年度	0	0	0		7,154		



10). 後期高齢者医療事業特別会計

平成20年度から設置された後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 111,512 千円に対し、歳入 111,413 千円、歳出 110,105 千円、差し引き 1,308 千円の黒字となっている。単年度収支についても 110 千円の黒字となっている。

(単位：千円)

後期高齢者医療事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
23年度	111,413	110,105	1,308	0	1,308	110
22年度	110,621	109,423	1,198	0	1,198	839
項目	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
	G	H	I		F+G+H-I	
23年度	0	0	0		110	
22年度	0	0	0		839	

11). 水道事業会計

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収入予算額 168,784 千円に対し決算額 164,592千円、支出予算額 168,068 千円に対し決算額 163,030 千円となり、差し引き 1,562 千円の当年度純利益が生じているが、損益計算書での当年度純利益 1,433 千円との差額 129 千円は、消費税相当分である。

一方、資本的収支においては、収入予算額 22,452 千円に対し決算額 22,450 千円、支出については、予算額75,493 千円に対し決算額 68,401 千円となり、差し引き 45,951 千円の収入不足となっている

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、過年度分損益勘定留保資金 4,188 千円、当年度分損益勘定留保資金 41,624 千円及び当年度分消費税資本的収支調整額 139 千円を充当して補填している。

(単位：千円)

年度	収益的収入	収益的支出	差 引	資本的収入	資本的支出	差 引
23年度	164,592	163,030	1,562	22,450	68,401	△ 45,951
22年度	163,850	160,818	3,032	0	60,443	△ 60,443

(3) 一般会計歳入の状況

平成23年度一般会計の歳入決算額は 9,429,532 千円で前年度に比べ6.3%の増となっている。

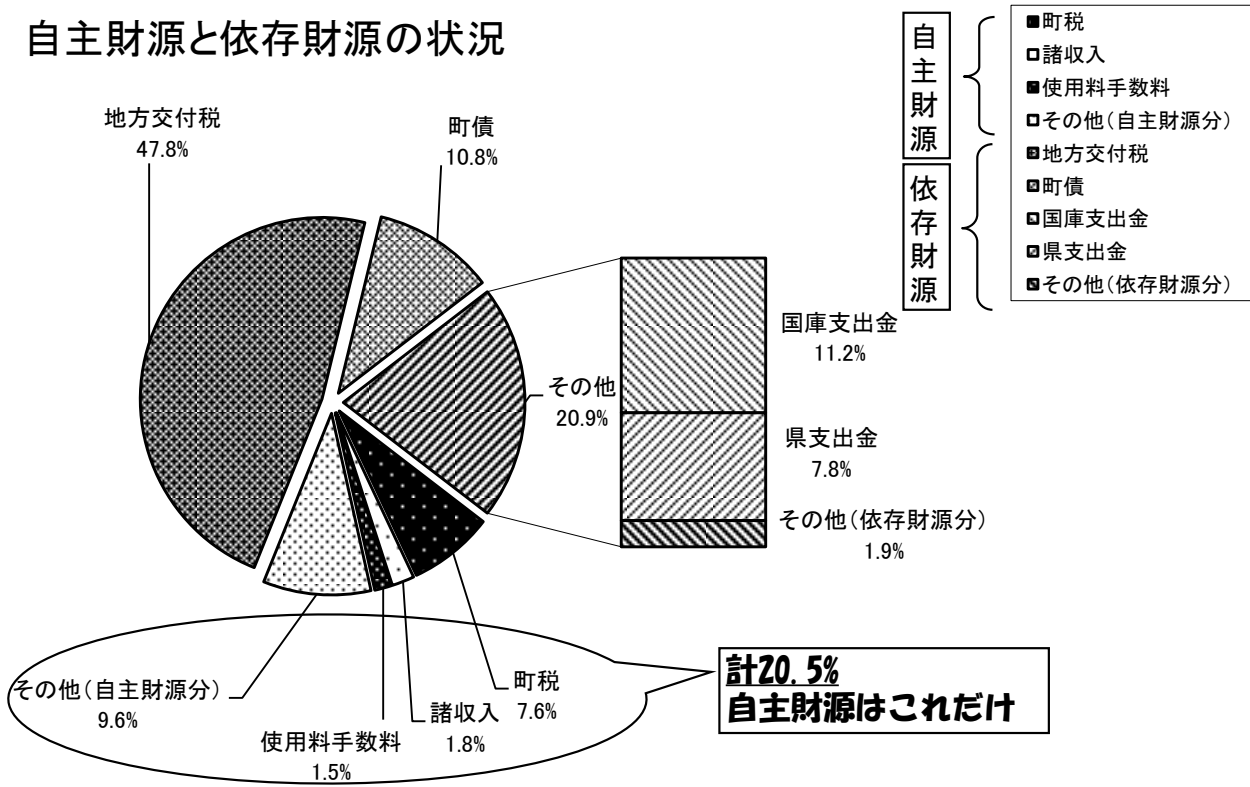
また、歳入を財源別にみると、自主財源(町税、使用料及び手数料、繰入金等)が 1,938,725 千円で 20.5%、依存財源(地方交付税、国県支出金、町債等)が 7,490,807 千円で79.5%となっており、自主財源が前年度に比べ0.3%の減、依存財源が前年度に比べ0.3%の増となっており、依存財源のしめる割合が増加している。

(歳入決算目的別内訳)

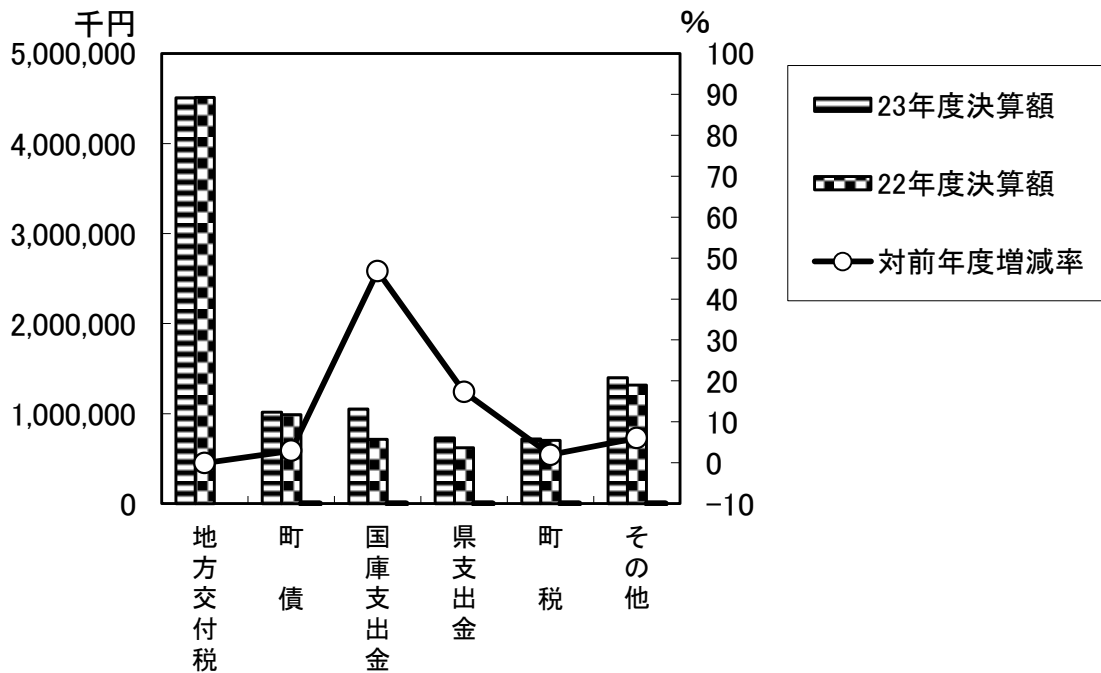
(単位:千円, %)

歳入区分	平成23年度		平成22年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 町 税	718,226	7.6	704,707	7.9	13,519	1.9
2 地 方 譲 与 税	61,831	0.7	63,532	0.7	△ 1,701	△ 2.7
3 利 子 割 交 付 金	1,597	0.0	2,642	0.0	△ 1,045	△ 39.6
4 配 当 割 交 付 金	1,018	0.0	352	0.0	666	189.2
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	159	0.0	378	0.0	△ 219	△ 57.9
6 地 方 消 費 税 交 付 金	83,011	0.9	88,784	1.0	△ 5,773	△ 6.5
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	7,631	0.1	9,309	0.1	△ 1,678	△ 18.0
8 地 方 特 例 交 付 金	20,586	0.2	21,711	0.2	△ 1,125	△ 5.2
9 地 方 交 付 税	4,510,244	47.8	4,513,502	50.9	△ 3,258	△ 0.1
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,795	0.0	1,896	0.0	△ 101	△ 5.3
11 分 担 金 及 び 負 担 金	33,030	0.4	39,181	0.4	△ 6,151	△ 15.7
12 使 用 料 及 び 手 数 料	144,909	1.5	143,169	1.6	1,740	1.2
13 国 庫 支 出 金	1,052,911	11.2	717,241	8.1	335,670	46.8
14 県 支 出 金	731,389	7.8	623,441	7.0	107,948	17.3
15 財 産 収 入	49,660	0.5	38,415	0.4	11,245	29.3
16 寄 付 金	14,070	0.1	14,566	0.2	△ 496	△ 3.4
17 繰 入 金	265,606	2.8	353,582	4.0	△ 87,976	△ 24.9
18 繰 越 金	547,523	5.8	387,240	4.4	160,283	41.4
19 諸 収 入	165,701	2.0	153,634	1.9	12,067	7.9
20 町 債	1,018,635	10.8	989,800	11.2	28,835	2.9
歳 入 合 計	9,429,532	100.2	8,867,082	100.0	562,450	6.3

# 自主財源と依存財源の状況



# 平成23年度歳入決算対前年度比較



(4) 一般会計歳出の状況

平成23年度一般会計の歳出決算額は8,860,545千円で前年度に比べ6.5%増となっている。

また、歳出額を性質別にみると義務的経費(人件費、扶助費、公債費等)が3,652,971千円で41.2%、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧事業費等)が2,119,799千円で23.9%、その他(物件費、補助費、維持補修費、繰出金等)が3,087,775千円で34.9%となっており、それぞれ前年度に比べ1.7%増、29.6%増、0.2%減となっている。

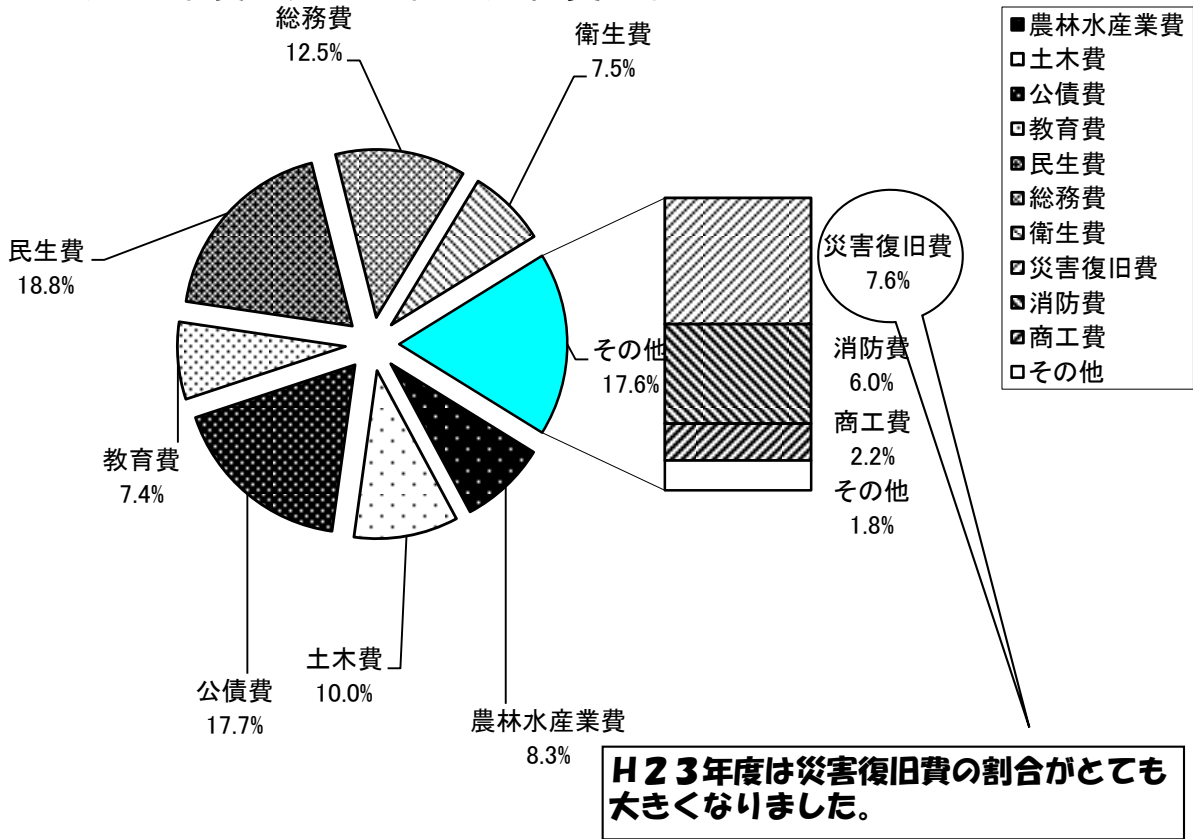
また、目的別の歳出額については下表のとおりとなっている。

(歳出決算目的別内訳)

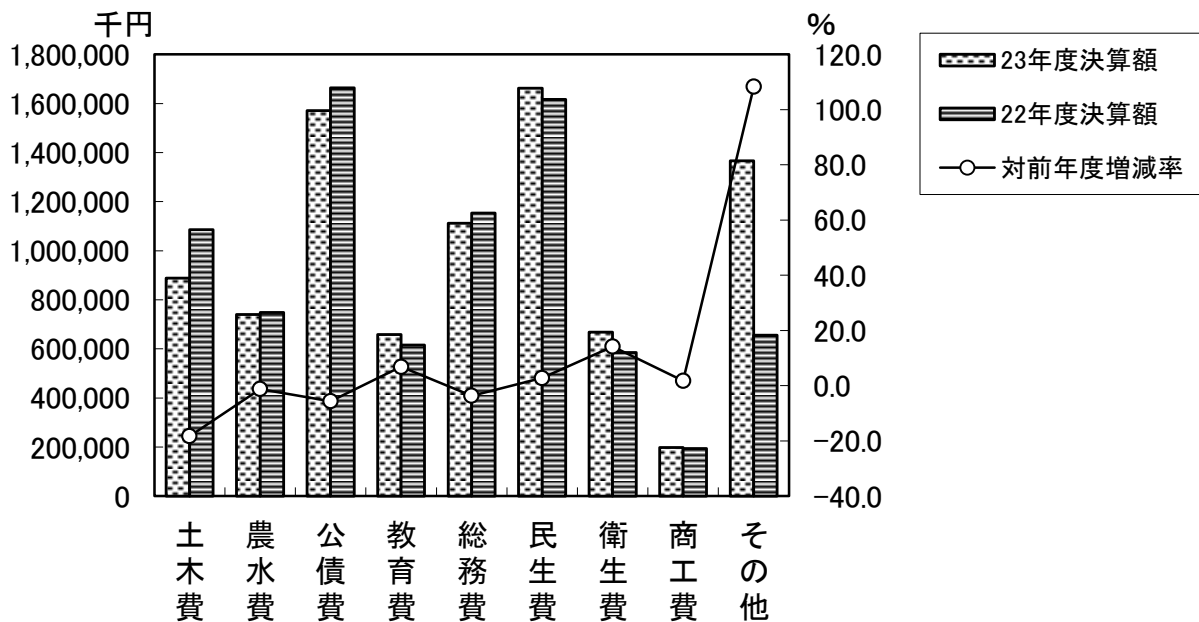
(単位:千円, %)

歳出区分	平成23年度		平成22年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 議会費	102,657	1.2	79,647	1.0	23,010	28.9
2 総務費	1,111,364	12.5	1,153,511	13.9	△ 42,147	△ 3.7
3 民生費	1,661,999	18.8	1,616,940	19.4	45,059	2.8
4 衛生費	667,887	7.5	584,974	7.0	82,913	14.2
5 労働費	8,378	0.1	7,961	0.1	417	5.2
6 農林水産業費	739,659	8.3	748,733	9.0	△ 9,074	△ 1.2
7 商工費	197,479	2.2	193,987	2.3	3,492	1.8
8 土木費	888,243	10.0	1,086,242	13.1	△ 197,999	△ 18.2
9 消防費	532,072	6.0	388,509	4.7	143,563	37.0
10 教育費	657,840	7.4	615,763	7.4	42,077	6.8
11 災害復旧費	674,726	7.6	131,384	1.6	543,342	413.6
12 公債費	1,570,232	17.7	1,663,764	20.0	△ 93,532	△ 5.6
13 諸支出金	48,009	0.5	48,144	0.6	△ 135	△ 0.3
14 予備費						
歳出合計	8,860,545	100.0	8,319,559	100.0	540,986	6.5

## 平成23年度一般会計目的別経費の状況



## 平成23年度歳出決算対前年度比較



(5) 町債の状況

町債は、道路や港湾施設等、住民が長期にわたって恩恵を受ける施設等の建設財源として、町が借り入れる長期借入金であるが、その借り入れ、償還の状況は次の通りとなっている。

町債の借り入れ、償還、現在高の状況

(単位:千円)

会計別	平成22年度末現在高 A	平成23年度発行額 B	平成23年度償還額 C	平成23年度末現在高 A+B-C
(一般会計)	11,347,445	1,018,635	1,400,855	10,965,225
(特別会計)	1,311,704	75,900	87,476	1,300,128
巡回診療	59,428	26,000	6,238	79,190
国保直診	2,487	0	1,144	1,343
船舶	103,592	0	24,862	78,730
上屋	29,999	0	1,325	28,674
農業集落排水	179,458	0	16,543	162,915
簡易水道	936,740	49,900	37,364	949,276
合計	12,659,149	1,094,535	1,488,331	12,265,353

上水道	888,315	0	65,492	822,823
-----	---------	---	--------	---------

## 2 平成24年度上半期財政運営のあらまし

平成24年度の補正予算を中心に上半期の財政運営状況を説明します。

### (1) 予算の規模

各会計の補正状況

(単位:千円)

会計別	平成24年度 当初予算額 A	9月までの補正 額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
(一般会計)	7,385,876	1,492,692	8,878,568	66.8
(特別会計)	4,587,850	△ 177,042	4,410,808	33.2
巡回診療	411,842	△ 81,948	329,894	2.5
国保事業	1,950,753	△ 106,431	1,844,322	13.9
国保直診	20,767	113	20,880	0.2
と畜場	2,371	0	2,371	0.0
船舶	341,994	△ 24,447	317,547	2.4
上屋	3,929	89	4,018	0.0
簡易水道	308,608	△ 41,203	267,405	2.0
農業集落排水	25,691	1,228	26,919	0.2
介護保険	1,412,131	73,820	1,485,951	11.2
後期高齢	109,764	1,737	111,501	0.8
合計	11,973,726	1,315,650	13,289,376	100.0

上水道事業	平成24年度 当初予算額 A	9月までの補 正額 B	現計予算 A+B
収益的収入	170,205	0	170,205
収益的支出	161,728	△ 946	160,782
資本的収入	2	25,739	25,741
資本的支出	55,918	24,636	80,554

一般会計予算款別補正状況  
(歳入)

(単位:千円、%)

会計別	平成24年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
町 税	712,734	0	712,734	8.0
地 方 譲 与 税	60,001	0	60,001	0.7
利 子 割 交 付 金	2,600	0	2,600	0.0
配 当 割 交 付 金	350	0	350	0.0
株式等譲渡所得割交付金	370	0	370	0.0
地方消費税交付金	88,700	0	88,700	1.0
自動車取得税交付金	9,300	0	9,300	0.1
地方特例交付金	20,500	0	20,500	0.2
地方交付税	4,044,833	0	4,044,833	45.6
交通安全対策特別交付金	2,050	0	2,050	0.0
分担金及び負担金	34,453	6,084	40,537	0.5
使用料及び手数料	137,053	△ 1,165	135,888	1.5
国庫支出金	656,808	250,914	907,722	10.2
県 支 出 金	475,386	264,096	739,482	8.3
財 産 収 入	39,970	3,206	43,176	0.5
寄 付 金	3	748	751	0.0
繰 入 金	7,481	221,204	228,685	2.6
繰 越 金	1	538,474	538,475	6.1
諸 収 入	105,054	1,633	106,687	1.2
町 債	988,229	207,498	1,195,727	13.5
合 計	7,385,876	1,492,692	8,878,568	100.0

(歳出)

(単位:千円、%)

会計別	平成24年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
議 会 費	87,218	7,689	94,907	1.1
総 務 費	789,234	404,902	1,194,136	13.4
民 生 費	1,274,232	121,309	1,395,541	15.7
衛 生 費	740,237	63,101	803,338	9.0
労 働 費	8,500	17	8,517	0.1
農 林 水 産 業 費	633,627	127,195	760,822	8.6
商 工 費	188,987	28,429	217,416	2.4
土 木 費	998,049	63,653	1,061,702	12.0
消 防 費	299,883	23,094	322,977	3.6
教 育 費	634,367	32,019	666,386	7.5
災 害 復 旧 費	199,397	591,284	790,681	8.9
公 債 費	1,491,534	0	1,491,534	16.8
諸 支 出 金	30,611	30,000	60,611	0.7
予 備 費	10,000	0	10,000	0.1
合 計	7,385,876	1,492,692	8,878,568	100.0



## (2) 予算の執行状況

平成24年度の上半期(4月1日～9月30日)までの各会計予算の収入及び支出状況は以下のとおりです。(繰越明許費は除く)

各会計予算の執行状況 (24年9月30日現在) (単位:千円、%)

会計別	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
(一般会計)	8,878,568	4,326,907	48.7	8,878,568	2,727,120	30.7
(特別会計)	4,410,808	1,289,811	29.2	4,410,808	2,068,992	46.9
巡回診療	329,894	66,086	20.0	329,894	158,045	47.9
国保事業	1,844,322	512,214	27.8	1,844,322	1,042,165	56.5
国保直診	20,880	9,180	44.0	20,880	5,607	26.9
と畜場	2,371	296	12.5	2,371	1,376	58.0
船舶	317,547	58,374	18.4	317,547	170,313	53.6
上屋	4,018	2,279	56.7	4,018	1,467	36.5
簡易水道	267,405	32,107	12.0	267,405	56,286	21.0
農業集落排水	26,919	5,065	18.8	26,919	13,164	48.9
介護保険	1,485,951	579,214	39.0	1,485,951	596,877	40.2
後期高齢	111,501	24,996	22.4	111,501	23,692	21.2
合計	13,289,376	5,616,718	42.3	13,289,376	4,796,112	36.1

(単位:千円、%)

上水道事業	収 入			支 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
収益的収支	170,205	73,231	43.0	160,782	45,301	28.2
資本的収支	25,741	0	0.0	80,554	18,014	22.4

平成24年度一般会計の上半期の款別執行状況は次のとおりです。(繰越明許費は除く)

一般会計予算款別執行状況(歳入) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	収入済額	収入率
町 税	712,734	381,876	53.6
地 方 譲 与 税	60,001	17,815	29.7
利 子 割 交 付 金	2,600	551	21.2
配 当 割 交 付 金	350	177	50.6
株式等譲渡所得割交付金	370	0	0.0
地方消費税交付金	88,700	44,591	50.3
自動車取得税交付金	9,300	3,341	35.9
地方特例交付金	20,500	1,105	5.4
地 方 交 付 税	4,044,833	3,083,480	76.2
交通安全対策特別交付金	2,050	0	0.0
分担金及び負担金	40,537	11,410	28.1
使用料及び手数料	135,888	58,498	43.0
国 庫 支 出 金	907,722	93,935	10.3
県 支 出 金	739,482	41,557	5.6
財 産 収 入	43,176	16,883	39.1
寄 付 金	751	19,686	2621.3
繰 入 金	228,685	0	0.0
繰 越 金	538,475	538,475	100.0
諸 収 入	106,687	13,527	12.7
町 債	1,195,727	0	0.0
歳 入 合 計	8,878,568	4,326,907	48.7

一般会計予算款別執行状況(歳出) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	支出済額	支出率
議 会 費	94,907	52,727	55.6
総 務 費	1,194,136	386,508	32.4
民 生 費	1,395,541	432,323	31.0
衛 生 費	803,338	389,257	48.5
労 働 費	8,517	4,211	49.4
農 林 水 産 業 費	760,822	176,692	23.2
商 工 費	217,416	106,451	49.0
土 木 費	1,061,702	154,623	14.6
消 防 費	322,977	158,179	49.0
教 育 費	666,386	285,249	42.8
災 害 復 旧 費	790,681	63,657	8.1
公 債 費	1,491,534	517,243	34.7
諸 支 出 金	60,611	0	0.0
予 備 費	10,000	0	0.0
歳 出 合 計	8,878,568	2,727,120	30.7

### 3 町有財産の状況

町有財産には公有財産、物品、債権及び基金が含まれますが、これらの町有財産の管理については条例や規則によってそれぞれの管理がなされています。その概要は以下のとおりです。

#### 【一般会計】

##### i) 公有財産

##### (1) 行政財産

##### ① 土地及び建物 (単位: m<sup>2</sup>)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		2,771.76	4,315.83
その他の 行政機関	消 防 庁 舎	9,986.96	1,779.57
	その他の施設	275.94	0.00
公共用 財産	学 校	120,218.28	40,797.00
	公 営 住 宅	54,564.44	37,754.85
	公 園	122,406.08	325.72
	その他の施設	176,501.83	30,304.08
計		486,725.29	115,277.05

##### (2) 普通財産

##### ① 土地及び建物 (単位: m<sup>2</sup>)

建 物		2,310.60
土 地	宅 地	58,637.21
	田	3,480.00
	畑	9,743.78
	原 野	4,487,436.83
	山 林	6,856,528.00
	雑種地	81,925.96
	墓 地	78,817.90
	保安林	754,582.75
計		12,333,463.03

林 野	12,098,547.58
-----	---------------

(原野+山林+保安林)

##### ② 有価証券 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
株 券	12,440

##### ③ 出資による権利 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
出資証券	318,954

## ii) 物 品

区 分	台 数
普 通 乗 用	5
普 通 貨 物	5
小 型 乗 用	14
小 型 貨 物	10
マ イ ク ロ バ ス	0
消 防 車	16
特 殊 用 途 車	9
大 型 特 殊 車	17
軽 ( 四 輪 貨 物 )	29
軽 ( 四 輪 乗 用 )	14
船 舶	3
原 付	2
合 計	124

## iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	預 金 現 金 359,528
地 方 債 管 理 基 金	預 金 現 金 115,056
高 額 医 療 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 2,774
	債 権 726
奨 学 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 14,331
	債 権 17,053
肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 29,656
	物 品 41,790
地 域 振 興 基 金	預 金 現 金 3,922
地 域 福 祉 基 金	預 金 現 金 955
ふ る さ と 水 と 土 保 全 基 金	預 金 現 金 10,000
教 育 振 興 人 材 育 成 基 金	預 金 現 金 1
公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	預 金 現 金 19,061
土 地 開 発 基 金	預 金 現 金 27,591
	不 動 産 0
大 学 入 学 一 時 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 34,821
	債 権 8,920
ふ る さ と 応 援 基 金	預 金 現 金 24,888
特 別 産 業 振 興 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 20,914
特 別 肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 6,968
	物 品 3,034
酒 造 用 含 み つ 糖 生 産 対 策 補 給 基 金	預 金 現 金 3,000
災 害 対 策 準 備 基 金	預 金 現 金 3,055
計	748,044

【特別会計】

i) 公有財産

(1) 公有財産

① 土地及び建物

(単位: m<sup>2</sup>)

区 分	土 地	建 物
と畜場事業会計	0.00	538.99
国民健康保険会計	601.01	119.56
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
計	18,993.28	3,966.80

② 動 産

区 分	現 在 高
船舶交通事業会計	2隻(279.00トﾝ)

(2) 行政財産

① 土地及び建物

(単位: m<sup>2</sup>)

区 分	土 地	建 物
と畜場事業会計	0.00	538.99
国民健康保険会計	601.01	119.56
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
計	18,993.28	3,966.80

ii) 物 品

区 分	現 在 高	
巡回診療会計	車 両	4台
	レ ン ト ゲ ン	2台
計	6台	

iii) 基 金 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
国民健康保険基金	222
船舶建造基金	8,480
介護従事者処遇改善臨時特例基金	686
計	9,388